



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和5年4月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2023-4 Vol.37

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「冬の思い出」

今年の冬は、佐賀県でも珍しく雪が積もることが数回ありました。寒さで外に出たがらない大人と対照的に、子どもたちは減多に見られない雪景色に大喜びで雪だるま作り。積雪の中の車の運転や水道の凍結と不安だらけでしたが、出来上がったなんととも言えない表情の雪だるまに心がほっこり温まりました。



- 巻頭言…2
- REPORT…3
- 事業所 TOPICS…4～5
- さが彩発見…6 学園 FOCUS…7
- 常務随想 リレーコラム…8
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…8

法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	こども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-好学会 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島こどもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



ポストコロナへ ～コロナ禍の教訓とは

佐賀整肢学園
理事長 中尾 清一郎

コロナ対策費

3年半に及ぶコロナ禍がようやく収束の兆しを見せている。この間のコロナ対策費は日本で100兆円、全世界では1000兆円を超えると見られている。今はやりの「SDG's」の基準によれば世界の貧困層とは1日1.25ドル(約170円)で暮らす人々、だという。ということは年間約6万円以下で暮らす人たちが世界に35億人(世界人口の半分)いると仮定し、彼らに10万円ずつ配れば世界の貧困は解消するはずだが、それに要する費用は350兆円である。世界はこのコロナ禍で人類の貧困を楽に解消できる富をコロナ対策に投じていることになる。私たちの身の回りに目を向ければ、コロナの間に消費されたマスクの枚数はどれほどだろう。また、飲食店や窓口業務で多用されるアクリル板に至っては石油製品の権化だが、これからどのように処理されていくのだろうか。「脱炭素社会」「原発停止」「自然エネルギーへの転換」というお題目を唱えるのは簡単だが、その実現には多くの矛盾点を克服しなければならないことを知るべきだ。

医療、福祉現場とコロナ

当法人関連施設は、一般の学校や職場とは異次元のコロナ対策が必要とされてきた。マスク着用はもちろん、徹底した換気と消毒、日常生活でも外出や人との接触を避け、旅行はもとより遠隔地の家族との交流も制限して、それでも散発的な感染や小さなクラスターは避けようもなかった。この間の職員の皆さんの努力・自己規制には深く敬意を表す。また、それに報いる手当てがなされなければならないと痛感している。ウィルスが変異して感染力が低下してきても、医療や福祉の現場でコロナ前の日常に戻すには相当な時間を要するだろう。最近国は「専門家」集団をめぐり見かけなくなったが、彼らは何をしているのだろうか。死ぬまでマスクを外すな、とでも思っているのだろうか。

日本のコロナ対策を振り返る

改めて日本におけるコロナ対策を振り返る必要がある。「感染症は終わったこと」と考えるのが最も避けるべき態

度であり、また、結果が出た問題を事前に予測することは極めて難しいので、例えば「アベノマスク」に数百億円、ワクチン8億回(!)分が余り、破棄されることもやむを得ない部分がある。それでも、唐突な学校休校や、飲食店への休業・時短・アルコール提供禁止通達などは愚策として深く記憶されなければならない。ヨーロッパの知の巨人と言われる社会学者は「日本のコロナ対策は若い世代の就学、社会経験を奪うことで高齢者の生命を守ろうとした」と喝破している。このような見方には反発もあるが、多感な若者、とりわけ女子学生が「マスクを外した生活は考えられない」などと言うのを聞くと暗澹たる思いになる。外国ではマスクは病人のするものであり、とりわけ先進国では特異なものである。コロナ前、パリやニューヨークに日本から到着する飛行機がマスクだらけなのは異様な光景であった。あと、日本の、外国からの入国者に対する「水際対策」は(4月末現在)まだ続いている。当初は帰国72時間以内の現地でのPCR検査陰性が求められていた。検査をする医療機関を探し、おおむね2万円前後の費用を払い、結果の通知も待つ。空港によっては医師の手書きサインのある陰性証明書を持っていないと搭乗を拒否されることもあった。私は現実に昨年ウィーンでトランクを預け、搭乗券を持った日本人がゲートで搭乗を拒否されたのを目撃した。その人は一体どうなったのだろう。この悪名高い「水際対策」は現在では緩和されているが、全く意味のない作業に莫大なコストがかけられている。この「やってます感」を醸し出すために日本社会はどれだけ無駄な時間、人手、費用をかけてきたのだろう。

ポストコロナとは

コロナは終わったわけではなく、再流行の可能性や未知のウィルスのリスクは今後も存続する。それに絶望するのではなく、今回のコロナ禍で新たな知見を得るべきだ。ウィルスの毒性を見極め、変異に対して対策の緩和と強化を敏速に行うこと、「コロナ利権」と呼ばれる、コロナで得をしたグループの検証を怠ってはならない。

改めて医療、福祉現場の「プロ意識」の意義と重要性を認識し、働く人の健康と生活を守る決意を新たにしている。

人材 面接

ミャンマーにて 特定技能外国人材面接

深刻な人手不足に対応するため、政府は、経済社会の活性化や一層の国際化を図る観点から、専門的・技術的分野の外国人労働者の受入をより積極的に推進（第9次雇用対策基本計画（閣議決定））し、介護分野では最大5万人の外国人材受入を見込んでいます。

からつ医療福祉センターでは、日本へ「介護福祉士」資格取得のために留学してくる外国人留学生の受入を主に行ってきました。しかし、「介護福祉士」国家試験のハードルは高く、養成学校卒業と同時に期限付きの資格は得られるものの、国家試験合格者は0名です。

そこで、政府の方針に基づく制度を利用し、介護技能評価試験及び日本語能力試験をパスし、「特定技能（介護）」の在留資格を得ることができる外国人材を獲得するため、ミャンマー現地にて面接を行いました。

ミャンマーは政情が安定しないなか、外国にて働きたい優秀な若者が多く、今回面接した方々も19歳～25歳の方々



日本語学校 授業風景



シュエダゴン・パゴダ寺院

で、その中でもヤンゴン大学卒業等優秀な若者3人を採用することができました。

今回の採用者は6ヶ月程度の介護に関する訓練期間を経て、早ければ令和5年の夏に日本へ入国し、当センターでは契約職員として最長5年間、介護業務に従事します。

更に永住を希望する方々は独自に勉強し、「介護福祉士」を目指します。そういった海外の若者を応援するとともに、介護の人材不足に対応することで、継続して福祉サービスを提供していきたいと思えます。

（からつ医療福祉センター 総務部 部長 富永 創）

定年 祝賀

法人内の各施設に勤務され、3月末で定年を迎えられた 7名の職員からのメッセージをお届けします。

高橋 純子（生活支援員）

こども発達医療センター第2療育課生活支援係主任
入職してからの定年を迎える今日までの月日は、あっという間でした。勤務1日目の事、今でもよく覚えています。あの日からたくさんのお仕事を勉強させていただきました。今日まで出会えたすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になりました。そして楽しい思い出をありがとうございます。

富崎 直美（生活支援員）

こども発達医療センター第3療育課生活支援係副主任
入職して18年、皆様に支えられ定年を迎える事ができました。感謝いたします。まだまだ元気に若々しく頑張りますので、これからもよろしく願いいたします。

岡 真理（生活支援員）

こども発達医療センター第1療育課生活支援係副主任
定年の節目を迎えるにあたり、利用者さんの笑顔と職員の皆様のお力添えに、心より感謝申し上げます。南棟の臨時職員として43歳で福祉の仕事に携わり、以来楽しく充実した日々でした。ありがとうございました。

吉岡 美加子（生活支援員）

こども発達医療センター第3療育課生活支援係利用者様と職員の皆様のおかげで、17年と8ヶ月勤めることができました。感謝、感謝、感謝です。老兵は去らず、もう少しお世話になりたいと思っています。改めて、宜しくお願い致します。

古舘 みゆき（生活支援員）

こども発達医療センター西棟療育課生活支援係副主任
1日1日歩み続けて20数年、節目を迎える事が出来ました。多くの方々と出会えた事、声をかけ支えて頂いた事に心から感謝しております。本当にありがとうございました。

北島 純子（介護支援専門員）

在宅サポートセンターかんざき清流苑課長
定年という節目を無事に迎えることができ有り難く思います。開苑と共に入職し、職員、利用者の方々からたくさんのお話を学び、育てていただきました。今後も、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思えます。

岡 真弓（管理栄養士）

からつ医療福祉センターアルトン栄養管理係係長
30代最後のチャレンジ!と思いきや39歳で入社させていただいた21年。いろんな事がありました。専業主婦だった私がここまで続けられたのは、多くの支えがあったからです。からつ医療福祉センターとの出会い、そして職場の皆様との出会いに感謝し、少しでも御恩返しができればと、もう少しお世話になりますので、これからもよろしくお願い致します。



7名の職員の皆様
お疲れ様でした。
ありがとうございました。



久里双水園では、11月5日に、くunchiパーティーを開催しました。今回のくunchiパーティーでは、ダンボールや新聞紙、色紙等を使用した、職員お手製の一番曳山「刀町の赤獅子」と二番曳山「中町の青獅子」の2台を利用者の皆さんに曳いていただきました。法被を着て、「エンヤー！エンヤー！」と元気な掛け声で楽しそうに曳山を曳く姿を見て、周りで見学されていた利用者の皆さんも、涙を流したり、一緒に掛け声をかけたりして、とても喜んでおられました。また、曳山14台全てが描かれた特大ケーキの登場で、会場は大盛り上がりとなりました。特大ケーキやお手製の曳山との写真撮影では、皆さん満面の笑みを見

られていました。雰囲気を出すために、DVDやYouTube等で唐津くunchiの映像やお囃子を流した事も、利用者の皆さんにとっても好評でした。コロナ禍の行動制限で、ストレスを抱える利用者の方も少なくなかったのですが、それを吹き飛ばすような利用者の皆さんの笑顔を沢山見ることができました。(入所サービス課 生活支援員 嶋崎 健一郎)



地域交流グラウンドゴルフ大会

11月

かんざき日の隈寮



秋晴れの11月、地域住民の方との交流・日の隈寮への理解を深めてもらうことを目的とし、地域交流グラウンドゴルフ大会を日の隈寮グラウンドにて開催致しました。今年は昨年に比べ、多くの地域住民の方に参加していただくことができ、特にご家族での参加者が増えたことは喜ばしいことでした。

地域住民の方は、週に2回、日の隈寮グラウンドにて練習をされていることもあり、技術やチームワークの高さに驚かされました。また、日の隈寮の利用者の方も大会に備えて、

練習をしたかいもあり、ホールインワンをされるなど地域住民の方に負けられないプレーをされていました。参加が難しい利用者の方もグラウンドの観客席や2階ベランダから熱のこもった応援をされていました。

コロナ禍で行事や外出が減少し制限がある中、スポーツを通じ地域住民の方々とコミュニケーションを取ることで、心身の健康増進やストレス軽減だけでなく、地域の方との繋がりを感じられ、楽しい時間を過ごすことができました。

今後もこのような大会を通じて地域の方との交流を深め、地域に必要とされる施設となればと思います。(入所サービス課 主任 北島 照政)



介護現場における先進機器の導入 11月

かんざき清流苑



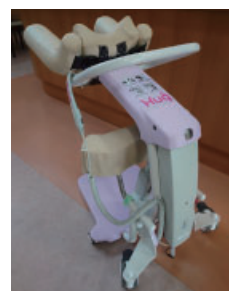
かんざき清流苑では、11月に「令和4年度佐賀県介護現場における先進機器導入支援事業費補助金」の交付決定を受け、介護用見守りベッドセンサー、Wi-Fi 設備、ICT 機器（記録ソフト）を特別養護老人ホームとグループホームに導入することとなりました。また、同補助金で移乗サポートロボット「Hug」をデイサービスに整備いたします。

ベッドセンサーは、マットの下に引くだけで遠隔で利用者の状況を確認することができるため、夜間の訪室回数を減少させることで、介護職員の業務効率化と利用者の安眠確保、事故防止を図ることを目的としています。

Wi-Fi 設備、ICT 機器（記録ソフト）においては、介護記録業務の効率化により職場環境を改善し、職員の離職率低減、残業時間の削減を図ることに加え、情報の共有化、連携を推進するとともに、利用者に関わる時間を確保し、サービス向上を図ることを目的としています。

また、移乗サポートロボットは介護業務への職員の身体的負担感を無くすことで、労災事故ゼロを目標に掲げています。

現在は導入準備の段階ではありますが、これから本格的に実用化していくことで、利用者の皆さんがより安心して安全な生活が送れるように、また職員にとってもより働きやすい職場となればと思います。(総務課 事務員 竹下 亜由美)



(総務課 事務員 竹下 亜由美) 移乗サポートロボット「Hug」

事業所 TOPICS

(11月～1月)

クリスマス会

12月

オークス



12月20日、クリスマス会を行いました。

午前中は映写会を実施しました。今年は、利用者の方のアンケートで決定した「アナと雪の女王2」を上映し、映画好きの利用者の皆さんが集まり、楽しく鑑賞されていました。

夕方からは、いよいよクリスマス会本番です。毎年恒例となった出し物では、今回は職員と利用者の方で、歌を披露しました。誰でも知っている曲を、と思い、「上を向いて歩こう」や「赤鼻のトナカイ」、「あわてんぼうのサンタクロース」といったクリスマスソングを選曲しました。見ていらっしゃる利用者の方も、口ずさんだり、手拍子でリズムをとったり

と、みんなで一緒に盛り上がることができました。

その後は、皆さんおまちかねのオークス名物・大抽選会です！今年は利用者の方のリクエストを受け、日用品などの小物も取り入れ、例年よりも景品の数を増やしました。どの利用者の方も「今年こそ当たるやろうか～」とドキドキされている様子で、2022年最後の運試しにあちこちで嬉しい歓声が上がっていました。

最後は、キャンドルを囲んでのクリスマスディナーです。いつもの食事と雰囲気を変えて、ご飯やおかずと一緒に盛りつけた特製ワンプレートにフライドチキン、さらにケーキが並びました。食後には、中庭に飾られたイルミネーションを見られ、「きれいかねえ～」と言いながら、各居室へ戻られました。皆さん一日を通してクリスマス会を楽しまれ、笑顔で2022年を締めくくることができました。

(入所サービス課 生活支援員 竹下 奈緒)



歳末たすけあい募金

12月

佐賀向陽園・わいわい



歳末たすけあい募金からの配分金を活用させていただき、今年も年末年始恒例の「クリスマス忘年会」や「新年祝賀式」を開催することができました。

クリスマス忘年会では、バイキング料理やケーキ、職員の余興では職員がサンタの衣装を着飾り利用者の方にプレゼントの手渡しを行いました。

新年祝賀式では、おせち料理を提供できました。新年祝賀式の獅子舞では利用者の皆さんの所へ出向き、今年1年の無病息災を願いました。利用者の皆さんからは、「おしかー」「よか年

ば迎えられた」と大好評でした。

おかげさまで歳末たすけあい募金により楽しい行事を開催できた事に感謝いたします。

(佐賀向陽園・居宅介護支援センターわいわい 主任 宮本 稔也)



20歳のお祝い会

1月

こども発達医療センター



今年度より成人が18歳となりました。本病棟では、20歳の利用者の方の「20歳のお祝い会」を1月12日に執り行いました。コロナ感染予防のため病棟での開催となりましたが、式にはお父様が参加されました。

コロナ禍の中での久々の面会と、出生されてから20年という月日の流れに様々な思いが溢れ、感動に包まれました。病棟スタッフからのお祝いメッセージも読み上げ、記念品は絵本作家による似顔絵の色紙とソープフラワーを贈りました。利用者の方は、いつにもまして

目や身体を動かして応えられ、スタッフ一同驚き、嬉しかったです。

短い時間ではありましたが、思い出深い時間を共に過ごすことができました。これからも皆さんの心に残るような行事を企画していけるよう工夫していきたいです。

(第3療育課 生活支援員 田中 直子)



タイムス特集

「さが彩発見」と題して、不定期に銘菓や伝統行事、特産品など、隠れた佐賀の魅力を取り上げていきます。

さが彩発見 File: 9 有田陶器市



有田陶器市は、「やきものの町」として有名な佐賀県西松浦郡有田町で開催される、陶磁器を販売するイベントです。数百円のお手軽な値段のものから何百万もする豪華なものまで、バラエティーに富んだ陶器が、早朝から販売されます。期間中は平日でも数万人、休日は20万人以上が来場し、やきものの町が一年で一番賑わう佐賀県を代表する一大イベントです。

有田陶器市MAP

●有田中継小学校
●有田小学校
●ひらき球場
●有田中学校

●有田中継小学校
●有田小学校
●ひらき球場
●有田中学校

●有田中継小学校
●有田小学校
●ひらき球場
●有田中学校

●有田中継小学校
●有田小学校
●ひらき球場
●有田中学校

●有田中継小学校
●有田小学校
●ひらき球場
●有田中学校

●有田中継小学校
●有田小学校
●ひらき球場
●有田中学校

【交通アクセス】
 車：波佐見有田ICから町内まで約5分
 JR：佐賀駅から有田駅まで《特急みどり》で約40分
 ※陶器市の期間だけ停車する「上有田駅」で降りるのもおすすめ
 佐賀空港から：リムジンバスで約1時間半

ここに掲載しているマップはR4年のものです。最新の情報に関しては、有田陶器市の公式ホームページにてご確認ください。

有田陶器市は、上有田駅から有田駅まで約3kmの街道が会場になり、歩行者天国となります。片道で十分!と言う方は、ゆるやかな下り坂になっている上有田駅から有田駅に向けて回るコースがオススメです。



整肢学園の陶器市達人に聞きました! おすすめポイント

陶器市の魅力とは

- ・お祭りの屋台、露店をめぐるような、次は何があるのかワクワクするところが第一の魅力です。年齢を重ねるにつれ、手の届かない陶器を鑑賞したり、好みの器を吟味する時間が魅力となっていきます。
- ・とても軽くてデザインのいい食器等が安く購入できるのが一番の魅力だと思います。

今までに買ったものは?

- ・たくさんありすぎて(汗) …最近では、孫のお食い初めの食器セット(鷹巣)、孫用の普段使いのお茶碗、お皿、プレート(大新窯他)などです。あとは、毎年深川製磁の食器を追加で買ってみたいり、ろくろ細工で名高い村島昭文先生(元深川製磁一級工芸技術者)のギャラリーに伺い貴重なお話を聞かせていただきながら、お財布と相談して作品を購入しています。
- ・自宅の食器は、ほぼ有田で購入しています。また、食器だけでなく、陶器のできているアクセサリ等も購入しました!



こだわりや、まわり方のコツなど

- ・こだわり、コツがあるほど精通しておりません(笑)。ただ、安売りで箱売りしてあるもの以外は、なるべく触らないように心掛けています。手袋必須。好きなお店を見つけたら積極的に店主とお話してみましょ。楽しみ方も含めいろいろと教えてください。そして沼にはまっています。
- ・電車で行く際は、上有田駅のホームと電車の隙間の広さに注意してください(笑)

おすすめ寄り道スポット・グルメ

- 【ライオンズクラブさん】陶器市のほぼ中間地点にあるライオンズクラブさんのテントでいただくおでんとビールは、歩き疲れたときにほっとするお味です。
- 【上海飯店】会場近くの、初めてだと入るのにちょっと勇気のいる味のある外観の中華料理店。メニューはどれも絶品!びっくりのボリュームで、シェアしながら食べてちょうどいい量だそう。今回インタビューした職員さん2人もおすすめに挙げられていました!
- 【こぱん】ほっとする雰囲気洋食屋さんで、写真映えもばっちり。
- 【武雄温泉】透明で柔らかな湯ざわりの武雄温泉は、美人の湯として知られています。

- 他にも...
- ・B級品がお得!
 - ・同じシリーズのお皿を、毎年絵柄違いで集めていくのが楽しみ
 - ・最終日は叩き売りのように安くなっている!
 - ・日頃はなかなかお目にかかれない一流の器に触れられる
 - ・自分だけの掘り出し物を見つけるのが楽しいなど、それぞれの楽しみ方をたくさん教えていただきました。

2023年の有田陶器市は
4月29日から5月5日に
 開催されるとよ!
 おでかけにもいい時期やけん、
 有田まで遊びにきてみてね!



佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

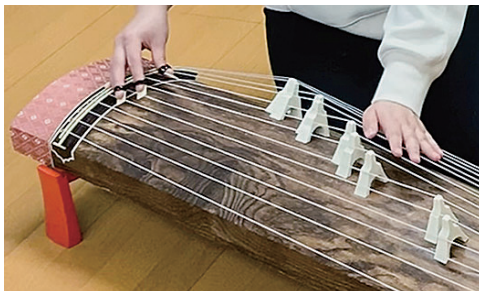
今回は、からつ医療福祉センターの梶原野恵流さんに、特技の「箏」について、熱く語っていただきました！

学園 FOCUS



Q 箏とはどんな楽器ですか？

A 箏は13本の絃を持つ弦楽器で、日本の伝統楽器の一つです。演奏は「箏爪」という爪を右手の親指、人差し指、中指の三本につけて弾きます。主に右手で演奏をしますが、左手を使い、絃を押さえて音を変えたり、音に余韻を作ったりすることもあります。



Q 箏と琴の違いはなんですか？

A 「箏」と「琴」は異なる楽器です。違いとしては柱(じ)という絃の下に立てて音程を変えるアイテムがあるかないかです。柱があるのを「箏」、ないのを「琴」といいます。一般的にイメージされる「こと」という楽器は「箏」となります。

Q いつからどのようなきっかけで始めましたか？

A 箏を知ったきっかけは、母からの勧めです。私の母は昔、箏を習っていたことがあり、どんな楽器か教えてくれていました。話を聞く度、だんだんと箏に興味が出て、小学1年生の時に始めました。高校卒業するまでの12年間習い、師範まで取得することができました。

Q これまでどんな曲を弾いてきましたか？

A 基本は課題曲をメインに弾いていました。課題曲は習得する資格によって変わります。資格が上がるにつれ曲が難しくなり、とても苦戦したことを覚えています。課題曲以外に、発表会の時は皆さんが聞き馴染みのある曲を演奏しました。ディズニーやジブリ、季節の曲や、その時の流行の曲など様々です。当時はこういった曲の楽譜は少なく、中には箏の先生が作った楽譜もありました。



かじわら の える
梶原 野恵流 さん

からつ医療福祉センター
総務課
管理栄養士

Q 箏の魅力はなんですか？

A 13本の絃で奏でる音が一番の魅力だと感じています。柱で音の高さを変え、演奏する際は手で様々なテクニックを使う。それだけで音に力強さや繊細さが表現でき、同じ曲でも世界観は大きく変わられます。



Q 最後に一言、お願いします！

A 普段、箏を見かけることは少ないと思いますが、街中やテレビ番組等で耳にする機会があれば、ぜひ箏の音色に耳を傾けてみてください。



常務随想

かんしつげんきつ
閑室元信を御存知ですか？

最近、何かと『徳川家康』がメディアに登場し、話題になることが多くなっているようだ。人気俳優達が、主演・助演を務めるNHKの大河ドラマをはじめ、いろんな取り上げられ方がされている。歴史を振り返ってみても、今なお世界の各地で戦火が絶えないなかで、265年間も日本国内の平和を保って続いた江戸幕府を開いた功績は大きい。その徳川家康に、政策スタッフ（ブレーン）として仕えた人物に「閑室元信（かんしつげんきつ）」という、佐賀にゆかりのある臨濟宗の僧侶がおられたことは浅学にして知らなかった。元信は、関ヶ原の戦いの折に家康の陣中に随行し、古筮（筮竹による占い）によって功績を挙げるとともに、江戸幕府開府後は、幕府の寺社行政、外交文書の作成、海外渡航朱印のことなどをつかさどり、江戸幕府初期政権で重要な役割を担った。

また、家康は元信のために、京都伏見に円光寺（紅葉の名所として有名）を建てて、古書の出版に当たさせたが、これは円光寺版といわれており、近世文教の復興に大きな役割を果たしたとされている。

元信は、1548年、肥前小城郡晴気村（佐賀県小城市小城町晴気）に生まれているが、鍋島藩の存廢の窮地にも大きな役割を果たしている。関ヶ原の戦いのおり、西軍豊臣方に属したため改易の危機に陥った鍋島勝茂を、元信が家康にとりなして救っているのである。その尽力に報いるため、鍋島直茂から元信に対し、故郷の小城市池上にある三岳寺が寄進され、晩年は故郷に戻り同寺にて過ごした。家康公の周りの武将は、出身地である三河武士の活躍が目立つ中で、佐賀出身の人物が重用されていたとは意外であった。

私は、佐賀から唐津方面に出張する折には、いつも三岳寺の所在地である小城市池上近くを通過しているが、まさかこんな近くに歴史上の人物に関わる名刹があるとは思ひもなかった。放映中のNHK大河ドラマに元信の出番を期待するとともに、機会を捉えて小城市池上の三岳寺、京都の円光寺を訪ねてみたいと思っている。

（常務理事 寺崎 敏光）

Relay Column



こども発達医療センター
医療課栄養管理係
管理栄養士

しもひら しょうた
下平 翔太

「隣の芝生は青い」という西洋のことわざがあります。みなさんは人のものが自分のものよりよく見えるという経験をされたことがありますか。

私は7年ほど前にマイホームを購入し、その際に青々と茂る緑の絨毯に憧れ、自宅の庭に芝生を張りました。家の隣に芝生はないですが、芝生の管理方法を調べるために関連書籍やウェブサイトをみていると、他人が管理する芝生はなぜか青々しているようにみえます。我が家の芝生はというと、雑草が生えていたり、色が悪く密度が低かったりと欠点ばかり。こうして私は「芝奴隷」となり、日々の管理に労力を費やすことになったのです。「芝奴隷」とは、芝生愛好家たちが生み出した言葉で、差別的な意味合いはありません。自宅の庭に芝生を植え、管理している人の中でも、完璧な芝生を望み、そのために必要な芝生の手入れに、日々追われる人たちの総称といったところでしょうか。また最近のSNSは、映える投稿に溢れていますが、自分をよく魅せたいと見栄ばかりを張ってしまい、自分自身を苦しめている本末転倒な結果になっている人もいます。

芝生やSNSに限らず他人が持っているものが、自分の持っているものよりよく思えてしまう反面、自分の持っているものよさには気が付かず、悪い面ばかり気になってしまう。時には自分のことを否定ばかりせずに認めてあげてもいいかもしれません。もしかすると、我が家の芝生をみて「青いなあ」と思ってくれている人がいるかもしれない。そんなつもりで、今後は自分のペースで自分らしい芝生を育てていきたいと思えます。

NEXT...オークスのあの人にバトンタッチ!!

令和4年11月～令和5年1月

協力ボランティア

【こども】 整肢学園友の会様 親和会様
【清流苑】 ビハール神埼様

施設見学来訪

【オークス】 金立特別支援学校2名様 うれしの特別支援学校1名様
【から・好・絆】 か) 北部地域自立支援協議会生活支援部会 20名様 唐津特別支援学校 14名様
長松小学校1名様 好) 西南学院大学心理学科7名様
【日の隈】 西九州大学大学院5名様

実習生受入

【こども】 西九州大学短期大学部地域生活支援学科1名 佐賀大学医学科1名
【清流苑】 神埼清明高校6名
【から・好・絆】 か) 西九州大学リハビリテーション学科3名 巖木高等学校1名 唐津特別支援学校1名
【向・わ】 神埼清明高校4名

学園タイムス

表紙写真大募集!

学園タイムスの表紙を飾る写真を職員の皆さんから募集しています。佐賀県及び糸島市で撮影した写真であれば、風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事等、どんな写真でもご応募いただけます。下記QRコードからメールで簡単に応募可能です。



たくさんのご応募、お待ちしております。

見どころ

あたたかな日差しに包まれ、春を感じるこの頃みなさんいかがお過ごしでしょうか？新たな門出を迎えられている方も多いのではないかと思います。さて、今回の見どころは春の行楽日和にピッタリのあの特集です！達人たちのおすすめポイントもあり要チェックです。また、事業所TOPICSではコロナ禍ではありますが、少しずつ行事も再開しておりますので、ぜひご覧ください。

